

Let's Smile and Say "Hello"

～笑顔でひと声かけよう～

サンプラザ

第 7 4 号

平成30年1月12日発行

新年のごあいさつ 院長 神吉和重

学会参加録～TCT2017で発表してきました～

循環器内科部長 大坪光典

平成29年度 新札幌循環器病院研究発表会開催

医療のげんば紹介【薬剤科編】

神吉院長講演会の御報告

マラソン大会の記録

藻岩山登山

金博士の『本音で語るう』"金さんと金様"

総合診療科 金 有世

お知らせ「DPCデータに基づく病院指標を
当院ホームページに公開しています」

医療法人サンプラザ 新札幌循環器病院

新年のごあいさつ

院長 神吉 和重



明けましておめでとうございます。
皆様の健康とご多幸をこころよりお祈り申し上げます。

当院が新札幌循環器病院として循環器診療をスタートさせたのは、平成10年4月でした。それから19年あまりを経過し、記念すべき20回目のお正月を迎えました。厚別地区で唯一心臓血管外科手術の行える循環器疾患専門病院であること、24時間体制で救急患者を受け入れるということ、地域に根差した医療を行っていくことなどが当院の屋台骨で、これまでずっと変わらずにまいりました。

今年、強く意識して取り組んでいきたいことの一つは、地域の医療機関との連携を深めることです。当院で扱っているほとんどの病気は、長年付き合っていかなければならないものです。長い経過の中で、入退院を繰り返すこともあれば、循環器疾患以外の病気にかかることもあります。そんなときには、かかりつけ医の先生と連携を密接に取り合い、必要に応じて他科の専門病院あるいは介護施設とも協力しながら、適切な医療を提供していきたいと思えます。地域をあげての診療体制を創造していきたいということです。

もう一つは、病院と地域を結ぶ医療です。これまでも医師会の要請などで医療講演を行うことがありましたが、昨年はそれに加えて地域の集会（町内会や老人クラブの集会など）に参加し、健康教室を行いました。不整脈や高血圧症などについて解説し、日頃の健康管理に役立つ情報を提供しました。質疑応答では、思いがけないすどい質問に戸惑うこともありますが、普段の地域での生活の一端を知ることができ、私にとっても非常に有意義な経験になっています。今年もさまざまなテーマで健康教室を企画し、地域のみなさんと触れ合っていければと考えています。

来年には天皇が退位され、年号が変わります。今年はさまざまな場面でさまざまな意味から、平成時代を振り返る一年になっていくことと思えます。

病院としても、新たな時代を迎える準備の一年、今年もみなさんの生き生きとした日常をささえる病院でありたいと思えます。どうぞよろしくお願ひいたします。

本年も
どうぞ
よろしく
お願いします



学会参加録

～TCT2017で発表して来ました～

循環器内科部長 大坪 光典

去る10月29日から11月2日、米国でTCT2017という学会が開催されました。この学会は心臓カテーテル治療に関する米国で最も大きな学会で、今年はコロラド州デンバーで開催されました。私はこの学会に演題を応募していたのですが、運良く採択されたため発表を兼ねて参加させてもらいました。

デンバーという都市名はあまり耳慣れないと思いますが、米国の中央よりもやや西側、コロラド山脈の麓で標高1600mほどの高地に位置するコロラド州の州都です。観光スポットはコロラド山脈の大自然なのですが、学会会期中に足を延ばす余裕はありませんでした。

会場となったコンベンションセンターはとても広く、札幌のコンベンションセンターとは全く比較になりません。軽く1000人以上は収容出来ると思われるメイン会場では、日本には存在しない新しい医療器具を使って臨場感あるライブ形式で治療する場面がスクリーンに映し出され、驚きと羨ましさで興奮を持って見学することが出来ました。ほかには100～200人程度が入れる会場が幾つもあり、それぞれ多くの聴衆が集まって活発な議論が行われていました。参加者はもちろん米国人が大部分でしたが、ヨーロッパ・ラテンアメリカ・中東・アジアなど様々な国からの参加者があり、自分と同じカテーテル治療に従事する人間が世界中に存在することを改めて肌で感じる事が出来て、良い刺激を受けました。

さて私の発表内容ですが、当院で経験した急性心筋梗塞の患者さんについての症例報告です。急性心筋梗塞を疑って心臓カテーテル検査を行ったものの、今一つ診断がはっきりしない患者さんにOFDIという血管内の状態を観察する器具を使って異常所見を見つけ出し、適切に治療することが出来たことを発表しました。メイン会場のような大聴衆の前での発表ではなくポスター会場での発表でしたが、大きな学会で発表出来たことは自分にとって大きな財産となりました。今回の学会参加を糧に、これからも日々の診療に精進していこうと思います。



平成 29 年度

新札幌循環器病院 研究発表会開催

平成 29 年 11 月 11 日（土）13 時 30 分より、厚別区民センター区民ホールにおいて「新札幌循環器病院研究発表会」を開催いたしました。当日は、発表者を含め 78 名の職員が出席し、神吉院長の開会挨拶のあと各部署が 13 演題の研究発表を行いました。神吉院長の開会挨拶では、それぞれの発表に対し質疑応答を活発に行い、他部署の意見を聞き、是非、自分の部署での参考にしていただくことを希望します、とのお話がありました。

今年で 3 回目となるこの研究発表会は、各部署において患者さまや職員へ行ったアンケートやデータ収集・分析などの結果を基に業務改善策を検討したり、通常行っている業務内容を報告することで、他部署との更なる連携を図ることが可能になるなど、大変有意義なものとなっています。

今後も、職員がそれぞれの立場で研究に取り組み、また、職員の前で発表することにより情報を共有し、患者さまへより良い医療を提供していきたいと考えております。

最後になりますが、お忙しいなか、アンケートにご協力いただいた患者さまに、感謝いたします。

< 発表演題 >

- ・「プレアボイド事例からみる、薬剤師の職能
～持参薬鑑別業務より考える～」 薬剤科 川島 智子
- ・「開心術患者への心臓リハビリテーションについて
～術前から生活指導まで～」 リハビリ科 宮本 将典
- ・「O F D I の所見から plaque erosion が原因と
考えられた A C S の 2 症例」 医 局 大坪 光典
- ・「震災時における透析医療」 医 局 清水 栄一
- ・「透析患者のリン吸着薬における服薬実態調査」 透析室 伊藤 智子
- ・「当院の手術室看護師が感じる仕事における
やりがいと影響要因」 手術室 菅原 麻衣
- ・「病棟看護師のストレスの実態調査」 3 病棟 中島さおり
- ・「当院外来でのフルネーム確認に対する調査
～アンケートの結果から～」 外 来 大西 良子
- ・「A 病棟での 2 交替・3 交替勤務が混在する
ことによるストレス調査」 2 病棟 遠藤 由佳
- ・「臨床工学科における経皮的心肺補助法（P C P S）のプライミング
～安全、確実で素早いプライミングを目指して～」 臨床工学科 山崎 僚也
- ・「胸部撮影法～胸部レントゲン撮影について～」 放射線科 安藤 睦
- ・「下肢動脈エコーで狭窄後波形を示さない病変における
A B I 検査の指標による検討」 臨床検査科 西 麻美
- ・「医師事務作業補助者の当院での取り組み」 医事課 小玉紀代美



医療のげんば紹介

【薬剤科編】

第7回目は「薬剤科」のお仕事を紹介いたします。

Q：「薬剤師」とは、どのようなお仕事ですか？

A：薬剤師は、医薬品全般について、幅広い知識を持つ「薬」の専門家です。病院薬剤師の仕事は、大きく7つあります。
①調剤 ②服薬指導 ③注射/点滴の調整 ④TDM（薬物治療モニタリング）
⑤医薬品情報管理 ⑥薬品在庫・品質管理 ⑦病棟担当業務



Q：当院での主な業務内容を教えてください。

A：上記の仕事内容も含め、入院患者さん個人個人の内服状況を確認・理解し、より正しく効果的に薬を服用して頂くことが治療の一環であると考え、医師・看護師また他のスタッフとも協力し合い、仕事をしています。

＜薬剤科よりみなさまへ＞

私たち薬剤師は、関わっていた患者さんが元気になられて、『ありがとう』と頂くことにやりがいを感じながら、仕事を行っています、薬に関する質問、心配事等どんな事でもかまいませんので、お気軽にお声がけ下さい。



神吉院長講演会の御報告

テーマ「これだけは知っておきたい高血圧」

【11月8日（水）：厚別信濃会館】 「厚別区民」の皆さま48名にご来場いただきました。

【11月12日（日）：北広島市 農民研修センター】

「輪厚寿会 老人会」の皆さま32名にご来場いただきました。

【12月2日（土）：当院 1階外来待合室】 12名の方にお越しいただきました。

～講演会は終始明るく和やかな雰囲気であり、また、多くの質問が寄せられました。講演会に参加される皆さまは元気な方が多く見受けられ、日々健康を意識されていることと思います。今後も是非、講演会に足を運んでいただき、健康な毎日をおくっていただきたいと思っております。～



出張医療講演会受付中

町内会・老人クラブなどの医療講演会や、医療相談などを無償で実施しております。テーマは、不整脈や高血圧などの循環器疾患や静脈瘤について。

厚別区・清田区・白石区・江別市・北広島市など（その他のエリアも可能です）。

まずは、お気軽にご相談ください。 事務部 総務課（TEL 011-892-1558）

マラソン大会参加の記録

10月1日(日) 第42回 札幌マラソン(ハーフ)

〈男子50歳代：1,230人〉

清水 栄一 1:23:34 8位

山田 陽一 1:35:28 73位

神吉 和重 1:42:19 170位

〈女子30歳代：349人〉

細谷 好美 1:46:23 31位



藻岩山登山

9月30日(土)に毎年恒例の藻岩山登山に行つて来ました。天気は快晴で、気温は19度。とても気持ちの良い天気でした。

登山の魅力は日常を離れて自然を感じ、頂上まで登る達成感だと思います。自分の足でこんなに高いところまで登ることが出来るなんてと感動します。

登山の後は、温泉に入り気持ちよく汗を流した後、懇親会は円山カルネさん。お洒落で美味しい料理やお酒が最高で、楽しく盛り上がりました。



金博士の

『本音で語ろう』⑦②

“金さんと金様”



たとえば、「鈴木さん」と呼び掛けるべきか、「鈴木様」と呼び掛けるべきか迷うことがある。

「鈴木様」は丁寧で尊敬の念が込められているし、「鈴木さん」には気楽で親しくお付き合い、という感じが込められそうである。どちらか一方を使うというべきだ、と云うよりは、間柄とか状況により使い分けが必要な言葉と思われる。

「様付」で思い出すのは、区役所の窓口で「金様」と呼ばれる時だが、全く違和感がない。医者として振り返ってみると、「さん付け」で患者さんに呼び掛けている自分に気付く。一方、患者さんは「金先生」と声を掛けてくれる。「金さん」と呼び掛けてくるのは、通っている語学教室の仲間達だ。これも、違和感はずゼロである。

いずれにしても、今はまだ修業が足りないが、これからも精進を重ね、いつの日にか皆さんから「遠山の金さん」ならぬ「仏の金さん」と呼ばれる日を、夢見ています。

総合診療科 金 有世

お知らせ

DPCデータに基づく病院指標を 当院ホームページに公開しています

当院ではDPCデータから全国統一の定義と形式に基づいた指標を作成し、ホームページ上にて、患者さまをはじめ皆さまへの情報公開を行っています。

この病院指標の公開は、患者数や在院日数等を具体的に数値化することで、当院の特徴や急性期医療の現状を理解していただくことを目的としています。



当院ホームページのトップページ右下
「新札幌循環器病院 病院指標」をクリック

外来担当医診療予定表 (平成30年1月12日現在)

	月			火			水			木			金			土		
午前	予約制	予約制		予約制	予約制		予約制	予約制	予約制	予約制	予約制	予約制	予約制	予約制	予約制	出張医	総合診療	総合診療
	佐々木	山田	清水	縄手	馬場	金	北大納谷	神吉	大坪	縄手	馬場	大坪	佐々木	神吉	山田			
午後	予約制	予約制	予約制	予約制	予約制		予約制	予約制	予約制	予約制	予約制	出張医	予約制		出張医	出張医 第1-3-5週 2:00~	腎臓内科 総合内科	総合診療
	神吉	馬場	藤井	佐々木	大坪	清水	北大納谷	馬場	縄手	佐々木	山田	消化器科	藤井	清水	佐藤			

診療受付時間

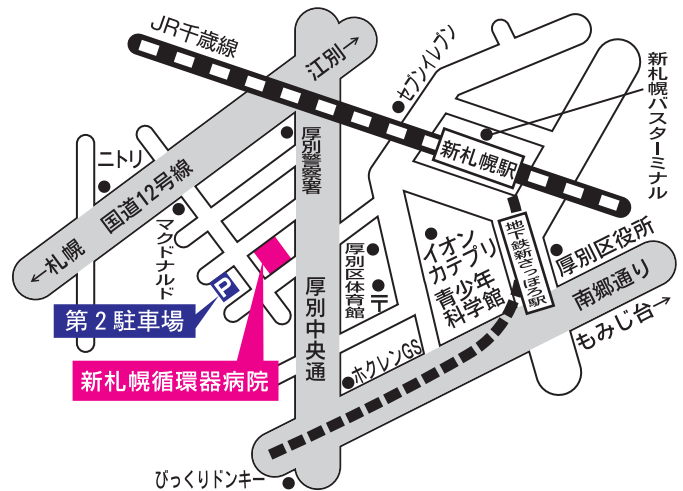
平日	午前	8:45 ~ 11:30
	午後	1:30 ~ 4:30
土曜日	午前	8:45 ~ 11:30

- * 新患受付時間 午前 8:45~11:00
午後 1:30~3:30
- * 土曜日は午前だけの診療となります。
- * 循環器救急のお問い合わせは24時間対応しています。

診療科目

- 心臓血管外科 人工透析内科
- 循環器内科 胸部外科
- 腎臓内科 リハビリテーション科

病院案内



■ 札幌市厚別区厚別中央2条4丁目9番25号
TEL 011-892-1556

■ 地下鉄 (5番出口) ・ JR ・ バスターミナルより徒歩5分

■ 面会時間 平日 午後 2:00 ~ 午後 8:00 / 土日祝 午前 11:00 ~ 午後 8:00



お車で
ご来院の
患者様へ

病院横駐車場 (18台) / 第2駐車場 (18台)

コナミスポーツ立体駐車場につきましては、割引 (無料) 利用はできませんのでご注意ください。

■ ホームページ随時更新しております。ぜひ、御覧ください。 <http://www.sshoc.jp>